

第5期麻生区区民会議 第12回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成27年12月4日（金）午後3時05分～午後4時45分

2 開催場所：麻生区役所第5会議室

3 出席者：[委員]

岡倉委員、白井委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員、

(欠席委員) 上野委員、金光委員、林委員

[事務局]

井上課長、白石担当係長、榎本

4 傍聴者 0名

5 配布資料

- 資料
- 1-1 若い世代が住みやすいまちづくり部会議事要旨
 - 1-2 市民活動・地域活動の活性化部会議事要旨
 - 2-1 第5期麻生区区民会議フォーラム（案）
 - 2-2 第5期麻生区区民会議フォーラムスケジュール（案）
 - 2-3 第5期麻生区区民会議フォーラム・役割分担（案）
 - 2-4 区民会議・フォーラムの広報活動について
 - 2-5 （参考）第4期区民会議フォーラム会場配置図
 - 3-1 区民会議報告書作成スケジュール（案）
 - 3-2 第5期区民会議報告書検討資料（岡倉委員提供資料）
 - 4 今後の区民会議について
 - 5 平成27年度区民会議交流会開催について

参考資料

- 1 第11回企画部会議事要旨

6 議 事

(1) 専門部会の検討経過報告

ア 若い世代が住みやすいまちづくり部会

【説明事項】

・白井部会長から、資料1-1により第12回部会の内容について報告。麻生区の魅力とは、緑が多い、治安が良い、芸術のまちであり、総じて子育てがしやすいことがわかる。子育てフェスタのアンケート結果において、芸術のまちの認知度が低いとあるが、子育てフェスタでのコンサートは人気で、普段からこども支援室で行っているコンサートでもいつも満席になっている。回答者の思う芸術・文化の意識とコンサートが一致していないのでは。芸術という言葉を高尚に捉えているの

ではないか。また、ブランド化に向けたキャッチフレーズについて、報告。区民会議の委員で麻生区のキャッチフレーズを決めてしまってもよいのか、区民の声を反映させたほうがよいのではないかと意見があった。麻生区のホームページに様々なキャッチフレーズが載っているが、魅力が絞られておらず、わかりにくく、固い感じがする。空き家の利活用について、町会の人にも、一軒家をシェアハウスとして使うということを説明することで、町会活動にも参加してもらえるように促せるようになるのではないかと。そのために、町会の人など周囲との連携が必要になる。区民会議でどういう形で関われるか検討していく。また、行政や区民がどのように関われるかについても検討していく予定。

(主な意見)

- ・区外の人に新百合ヶ丘に住んでいると話すと基本的には良いイメージとして捉えられていることが多い。
- ・麻生区は首都圏の中では、Aクラスではないか。スーパーや保育所もある程度あるため、住みやすい。
- ・二子玉川では、東急が1,500億円を投資し、30年かけて今のようなまちを築いた。楽天の本社が移転して来たり、裏路地に行くと居酒屋もあるため、バランスが取れている。
- ・麻生区では、PTAの方など畑づくりをしている方が多く、田園風景などもあり、これらについて、若い世代からどう見るかの視点も必要ではないか。
- ・PRの方法として、多摩区では映像を作って魅力を伝えることを検討している。映像で魅力を伝えるのも1つの方法だと思う。
- ・「あさおわくわくウォーク」など楽しいイベントや神社・仏閣など資源はたくさんあるので、それぞれをうまく組み合わせるとよいのではないかと。
- ・宮崎県小林市の移住促進をしたPR動画が「YouTube」に公開されているが、目を引きつけられる内容になっているので、参考になるのではないかと。
- ・麻生区にはオペラ歌手がたくさんいるので、その人たちにPRしてもらおうことも考えられるのではないかと。
- ・PRの方法について、様々コンセプトを出して、検討していくのがよいのではないかと。

イ 市民活動・地域活動の活性化部会

【説明事項】

・岡倉部会長から、資料1-2により第12回部会の内容について報告。「健康づくりのつどい」の意見交換の分析について、「ボランティアに関心がありますか」との質問に、8割以上が「ある」と回答した。「ボランティアに参加したきっかけは何か」、「どんなきっかけがあれば参加しますか」との質問では、「友人知人に誘われて参加した（誘われれば参加したい）」に多くの意見が集まった。あと一押しが重要であり、講座からボランティアの養成講座、ボランティア活動へ繋ぐものが、知人友人の誘いなのかもしれない。ボランティア団体が出している情報が、受け手の区民に伝わっていない。血管にコレステロールが溜まり、血の流れが悪いイメージで、詰まりの解消が必要。また、連携という点では、地域コーディネーターという役割が重要になる。まだまだ活躍する場があり、もったいないと思わせるような仕掛けが必要。「流れ」という切り口が1つのポイント

になる。今後、審議の参考にボランティア活動のサポート機関として、世田谷ボランティア協会が運営する世田谷ボランティアセンターを視察予定。

(主な意見)

- ・意見なし

(2) 区民会議フォーラムについて

- ・各部会の報告については、パワーポイント形式で報告する。
- ・区民会議フォーラムの内容等については、講師との調整はあるが、概ね案のとおりで進めていく。
- ・第5期麻生区区民会議の全体テーマについては「心がかよう魅力あるまち あさお」であるが、全体テーマを全面に出すと区民の方が内容を混同してしまうので、フォーラムのテーマは「(仮)健康寿命をのばすには？」とする。
- ・広報について
 - チラシと区民会議ニュース4号は別々で発行する。現在、講師と調整中であるが、スケジュールを考慮すると12月中にはチラシの紙面を確定させたい。60代の方がターゲットなので、そこに響くようなものがよいのではないかと。12月15日に市民活動・地域活動の活性化部会があるため、それまでに素案を作成し、部会に諮ることとした。部会に諮った後、企画部会委員へ確認を行い、1月8日を目安に原稿を確定させる。区民会議ニュース4号の1面はフォーラム特集とし、2面については、両部会の調査・審議の内容を掲載することとなった。区民会議ニュース4号の発行準備は、平成28年1月15日(金)午後2時からとし、岡倉委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員、事務局で行い、印刷・発行する。市政日より区版や一般紙やタウン紙についても広報していく予定であり、町連日より2月号へも掲載していく予定。
- ・役割分担について、司会は、市民活動・地域活動の活性化部会の副会長である高橋(慶)委員とする。その他、詳細については、次回検討していく。

(3) 区民会議報告書について

- ・資料3-1について、事務局より説明。
- ・区民会議報告書のスケジュールについては、案のとおり進めていく旨、確認。
- ・資料3-2について、岡倉委員より説明。報告書の構成について、第4期の報告書では、「各部会の審議と取組みについて」と「提言」が別の章となっていたが、部会ごとに章立てしたほうが読みやすいのではないかと。目次については、流れを整理する段階でどうしていくかを検討していく。

7 その他

○今後の区民会議について

- ・資料4について、事務局より説明。区民会議のあり方を含む「区役所改革の基本方針」について区民会議委員に向けて平成28年2月3日の区民会議交流会で説明予定であるが、今回、資料をまとめたものを配布するので、参考にしていきたい。

○平成27年度区民会議交流会開催について

- ・資料5について、事務局より説明。10月にも出欠確認をしたが、再度、出欠確認を行いたい。今回は、自己紹介シートも併せて提出してほしい。メールやFAXで照会をするので、12月25日（金）までに回答をお願いしたい。

○次回の企画部会は、平成28年2月5日（金）とする。

以上